

コミュニティ・スクール委員会だより

発行者：にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会 編集：コミュニケーション推進部

特集：文部科学大臣表彰を受けました！



出典：
https://www.mext.go.jp/b_menu/activity/detail/2023/20230203.html

コミュニティ・スクール委員会会長の岩本さんが代表して副大臣から表彰状を授与されました！

特集：文部科学大臣表彰を受けました！

にしみたか学園で、地域と学校が連携して行った授業「まちづくりプランナーになろう」が、文部科学大臣の表彰を受けました。「誰一人取り残さず、一人一人が多様な幸せを感じる」ことのできる地域社会の実現に向けて、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子供たちの成長を支えるコミュニティ・スクール」の活動として注目されたこの取り組み。日々忙しい毎日に流れていってしまう出来事も多いなか、ちょっと立ち止まって振り返ってみました。

そもそもどんなことをやったの？



「まちづくりプランナーになろう」の授業の様子。講師は2人組で授業を行う。

6年生の総合的な学習の時間を使った1年間の地域学習のプログラムです。昨年度、二小で「まちづくりプランナーになろう」としてスタート、今年度からは井口小でも「三鷹まちづくりプランナー」という名称で実施されました。両校の個性がありますが、共通しているのは次のような内容です。

- ① 私たちの暮らす地域を支えている様々な方々のお話を伺う
- ② 地域のイベントやボランティア活動への参加、調べ学習を促す
- ③ それらをもとに、改善提案や自分たちのプランを考え、発表する

CS委員会が担ったのは特に①の部分です。公共のお仕事に加えて、ボランティアで地域を支えている方々など多様な役割に出会えるように講師のコーディネートを実施。さらに、活動紹介だけでなく、「きっかけ」や「思い、願い」も含めて子どもたちにお話しただきました。

やってみてどうだったの？

● 普段出会わない大人との出会いはとても新鮮だったようです。
● 友達のお父さんやお母さんの別の顔を知れたりするのも刺激的。
● 学校の授業で習ったこと、いつもの暮らしがなくなっていくと、学びが深まりそうです。
● 地域の魅力を活かした学校の取り組みって、この地域ならではの学びが生まれていきそう。
● これからの「学校3部制」に向けて、学校と地域が連携していく機会をよりつくっていただけると嬉しいです。

どんな大人たちが来てくれたの？

CS委員会では、まちづくりプランナーだけでなく、にしみたか学園のキャリア教育に関わる授業のコーディネートをしており、様々な職業や活動をしているかたがたとの出会いを提供しています。例えば、パティシエ、研究者、地域芸能実践者、看護師、アニメーター、農家、建築家、格闘家、レーシングドライバー、絵本作家、歌人、弁理士、税理士、ダンサー、ゲームプロデューサー、デザイナー、警察官、ケアマネジャーなど、幅広い業種の方が来てくれています。

※文中の「CS」は「コミュニティ・スクール」の意味で使用しています

あんなことこんなこと
実現していきます

その2

焚火ワークショップ開催
焚火を真ん中におくと、暖と会話と和み其自然と生まれてきます。今回は、災害時に子どもたちに、火をおこし、薪の無駄がないように火を維持することが出来るように、試す機会にもなればと思って、大人たちも腕まくり。一斗缶を加工した焚火台も作成しました。



その3

まちなかミュージアム開催
実際に、町会の方が管理する地域の掲示板をお借りし、3月の間、子どもたちの作品を展示中。子どもたちの絵がまちに飾られることで、まちの風景が少し彩られるといいな。今年が初展示なので、これからも子どもたちの素敵な絵がまちに展示されていくといいなと思っています。



展示作品は、絵だけでなく、写真作品もある。



地域に60個以上ある、まちの掲示板。みんなが過ごす、このまちがミュージアムになる

リファレンス



そもそも、コミュニティ・スクールって何？という方、ぜひこちらの資料もご覧ください
「コミュニティ・スクールガイド」
https://www.mitaka-schools.jp/nishimitaka/chiki/documents/csg_web_hp.pdf
子ども大人も地域もみんなと一緒に育っていくための想いや考え方をまとめています。



「学校3部制」って何？という方、ぜひこちらの資料もご覧ください
「みたかの教育」
<https://www.city.mitaka.lg.jp/kyouiku/2022/20220417/03.pdf>
学校を地域のみなのための拠点とする取り組みが議論されています。



にしみたか学園のアクションプランって何？という方、ぜひこちらの資料もご覧ください
「にしみたか学園アクションプラン」
https://www.mitaka-schools.jp/nishimitaka/chiki/documents/cs_actionplan.jpg
想いを実現するために必要な具体的な行動をまとめています。



にしみたか学園ホームページ



今回紙面にも取り上げたアクションプランに関する評価アンケートの全貌はこちらからご確認ください。
「評価アンケート報告書」
<https://www.mitaka-schools.jp/nishimitaka/chiki/documents/r4hyoukahoukoku.pdf>

あんなこといいなできたらいいな



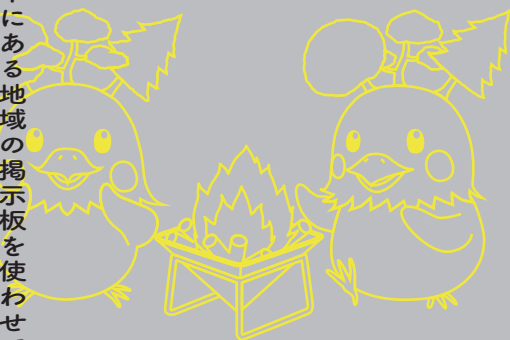
コミュニティ・スクールでは、保護者・地域関係者・教職員が立場を超えながら、良いことも、そして悪いこともひっくるめながら、ああでもないこうでもない話し合いを重ねています。話し合いの結果も大切にしています。そういった人と人の繋がりがこそを大切にしています。なぜなら、子どもたちのより良い環境を維持発展させるためにも、地域の魅力を高めていくためにも、災害時などのピンチへ対応をしていくためにも、それこそが基盤になると考えるからです。なんて真面目なことを頭に据え置きながら、「あんなこんなこと、できたらいいな」といろんな楽しいことを模索しています。大人が楽しんでる背中を見せることも、教育のひとつのあり方ですよ！

楽しいことの模索

・「学校の校庭で焚き火を囲みながら、みんなの会話を育みたい。子どもたちにとっては火おこし体験になったり、保護者にとってはなかなか吐き出せない悩みごとを分かち合えたり、地域でやってみたいことの作戦会議になったり、それに防災訓練にもなったりしう！」

・「保護者や先生の趣味やスキルって、スゴイ。そういうものを普段はなかなか感じる機会がないから、地域の文化祭みたいなノリで、楽しい発表会みたいのできないですかね。のど自慢大会もでいいし！」

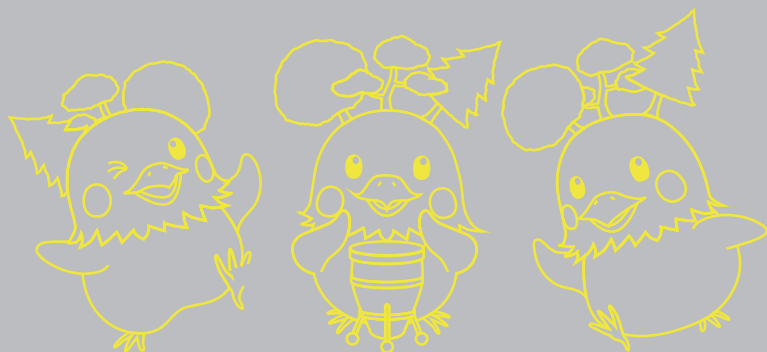
・「まちの中にある地域の掲示板を使わせて頂いて、子どもたちの発表の場にできたら面白そう。地域の情報にも目を向ける機会になるかも！それに、子どもたちが褒められる機会はたくさんあっていいよね！」



例えばこんなこと

あんなことこんなこと 実現していきます

その1
お話しダンスレッスン
ここ数年、学園長のところにも、CS委員のメンバーにも、ダンス部があったらという子どもたちからの要望が届いていたので、あささんネットの企画として、お話しでダンスクラブを企画してみました。2月から3月にかけて、4回のレッスンに、64名の参加がありました。今後の活動に関して、検討を進めていく予定です。



※文中の「CS」は「コミュニティ・スクール」の意味で使用しています

アクションプランで、みんなの声を集めてみました

子どもたちの「こうなりたい！」に大人も本気で応えたい！ということで設定された「にしみたか学園のアクションプラン」。結局のところどうだった？というアンケートを実施しました。その結果をご報告します。アンケート結果の全貌は下記サイトをご覧ください！

<https://www.mitaka-schools.jp/nishimitaka/chiki/documents/r4hyoukahoukoku.pdf>



評価アンケート
報告書はこちら！

そもそもアクションプランって？

にしみたか学園で育つ9年間、15歳で巣立っていく時には、こんな子になってほしい。でも、掲げるだけでなく行動しなくちゃダメだよ。という事で、子どもが掲げた目標を保護者・学校・地域のそれぞれの立場で応援する行動計画。それがアクションプランです。例えば、「個別最適」と呼ばれるように子どもたちのそれぞれの個性を育みたい。授業の成績にはつかないかもしれないけど、もっと色んな視点で子どもたちを応援したい。そういった願いも込められています。今回のアンケートではそんなアクションプランの浸透度についてみなさんの声を集めることができました。

- 「にしみたか学園 目指す児童・生徒像」
- ・自ら考え、行動し、自ら未来を切り拓いていく児童・生徒
 - ・失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童・生徒
 - ・常に学び続ける児童・生徒
 - ・共に生きる力を育んでいく児童・生徒

アンケート回答数

児童生徒：1,197人
保護者：956人
教員：101人
地域：74人

集まった声から伺い知れること (ピックアップ)

「自ら未来を切り拓くこと」

- ・保護者に自分の目標を伝えている子が少ない(29%)
- ・先生は子供たちが目標に向かって努力をしていると思っている(93%)
- ・地域イベントに関わって子どもたちが成長する事は良いことだと思われている(100%)

「失敗を恐れずチャレンジする」

- ・何らかのチャレンジをする機会があった(80%)
- ・学年が上がると、友達のチャレンジを応援したり、自分が応援されたと答える回答率が増える
- ・小学6年〜中学2年において、チャレンジする時や失敗した際に「相談をしない」という回答が多い(平均で7%)

「学び続けること」

- ・子どもたちは分からないことを自分で調べている(87%)
- ・保護者も子どもから質問があった時は一緒に考えて答えを出そうとしている(96%)
- ・学年が上がるとつれて、調べても分からない時に友達に聞くという回答が増える

「共に生きる」

- ・子どもたちは、友達の話に耳を傾けようとしている(97%)
- ・地域の人たちは子どもたちにあいさつをするように心がけてくれている(91%)
- ・地域の人と学校関係者と話す機会は少ない(63%)



ご協力ありがとうございました！

アンケートのご協力ありがとうございました！アンケートの状況のなかで、あの手この手で、学校・地域・家庭が「腕まくり」しながら、より良い状況をつくるべくして助け合ってきたからこそその数字なのでは！？と感じます。子どもたちの「こうなりたい！」という夢や発想が広がる地域になったら最高です！！！！